

マナー運転 7つのポイント

1

◆細心の注意(周囲に対しての気配り)

- 交通弱者(歩行者・自転車・二輪車)、周囲の皆様に対しては「おもいやりのある運転」を行う。



2

◆距離の確認(つかず、離れず)

- 他車との車間距離を十分確保する。【車間距離は速度に応じた停止距離が必要】ということ認識する。



3

◆余裕とゆとりをもって運転(イライラしない、あわてない)

- 「いかり」「あせり」「自己過信」を抑え、「冷静な運転」を心がける。



4

◆目立つ、気付かせる(カーブでのパッシング、ハザードランプ点灯)

- アイコンタクトの上手な使い方。(ヘッドライト、方向指示器、ブレーキランプ、ハザードランプ)



5

◆進路変更や右左折の合図は早めに(あいまいな動作をしない)

- 早めに合図を出し、後方及び側方車両等に注意喚起し、安全確認を行い進路変更する。



6

◆まさかを想定(だろう、たぶんを排除)

- 「ヒヤリ」「ハット」した経験から危険予知能力を身につけ、安全運転技術を蓄積することで危険予知能力を体得する。



7

◆高い運転モラル

- 運転中における「携帯電話使用」「飲食」「喫煙」等は絶対に行わず、法定速度を遵守し走行する。

